

第140号

2013.12.26

ながの 社会福祉士会 NEWS

■発行：一般社団法人長野県社会福祉士会 ■会長：三村 仁志
 ■事務局：〒380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館 6F
 TEL：026(266)0294 E-mail：hope@nacsw.com
 FAX：026(266)0339 http://nacsw.jp/ ■編集：広報編集委員会

目次

福祉まるごと学会&一般社団法人移行総会 … 1	第9回福祉まるごと学会 …………… 7
理事挨拶 …………… 2～6	福祉まるごと学会イベント …………… 8
役員名簿 …………… 6	今後の予定 …………… 8
一般社団法人長野県社会福祉士会組織概念図 … 7	報告！一般社団法人移行総会 …………… 8
	編集後記 …………… 8

～福祉まるごと学会&一般社団法人移行総会～

2013.10.19

花野 敦大

一般社団法人移行後の記念すべき学会と総会に実行委員として企画・運営に関わることができ、良い経験となりました。学会での鈴木先生、藤田先生の貴重な講演やシンポジストの方々の話をもっと多くの方に聞いていただきたかったのが正直な感想です。懇親会では、多くの方と楽しく熱い話で盛り上がりしました。今回の学会や総会、懇親会を通じて、いかに社会福祉士会に関わりを持っていくかで自分自身ができる物のか大きさを実感しました。



鈴木文治さん

佐藤 哲郎

会員の相互協力、また事務局の支援により福祉まるごと学会が行えたこと、心より感謝申し上げます。私自身の頼りなさはさておき、実行委員会の過程や当日の会員の能動的な姿勢に学ぶことも多かったです。長野に転居して3年目ですが皆様と知り合えとても充実しています。会の仲間としてこれからも研鑽を深めていきましょう。



藤田孝典さん

小林 哲男

初めて実行委員をやらせていただきました。まだ社会福祉士になって1年6か月でわからないことだらけですが、このような力を合わせて行うことに関われたことを嬉しく思います。皆さんとても情熱的で熱いものがひしひしと伝わってきました。今後でもできる限り関わっていきたく思います。どうかよろしく願います。

萱津 公子

一般社団法人移行おめでとうございます。まるごと学会では職能団体として今、取り組むべき「貧困」について、感動的で有意義な示唆をいただき、祝賀会では若い会員が率先して活動し、更新した県士会の歩みの映像を上映していただきました。会員自身で作上げてきた会のあり方に立ち返る必要を痛感する機会となりました。

柏尾 涼平

まるごと学会と総会の実行委員としてお手伝いをさせて頂き、中信地区の会員さんとお知り合いになることができ本当に良かったと思います。祝賀会では自己紹介の企画があり、多くの会員さんを知ることができ、本当に参加して良かったです！これを機に社会福祉士会の活動にどんどん参加していきたいと思っております！

奥原 和彦

今まで長野県社会福祉士会の組織作りに尽力された方々の苦勞があって、今回の一般社団法人移行ができたのだと実感しました。これからは会員それぞれが、この地域の暮らしにおいて下支えになるような組織作りができればいいなあと思いました。

二木 浩

スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。記録係を仰せつかりました二木です。写真撮影を主に行いました。事務局からお借りしたデジカメの充電や日付の設定、薄暗い会場でISO感度は？シャッター速度は？ストロボの発光は？邪魔にならない場所から望遠で撮るには？(持参した三脚が役立ちました)と、開催まで気の抜けない作業でした。録音は最初の部分が設定ミスで記録されておらず、また写真も撮りっぱなしで事務局にメモリーカードとデジカメをお返しただけでしたので、事務局の皆様にはお手数をおかけしました。最後に懇親会をドクターストップによりパスした非礼をお詫びいたします。

守屋 幹雄

実行委員として準備や運営に関わり、とても有意義な経験を積むことができました。貧困問題に無知で、生活困窮者や養護学校に通う方々の状況や支援について話を聞き「なぜ、差別や偏見があるのか」と胸が詰まる思いでした。まるごと学会は社会福祉士の私の活動に影響のある経験になりました。

理事あいさつ ～一般社団法人の移行にあたって～

一般社団法人への移行 ～新体制～

会長 三村 仁志 (中信地区・中信社会福祉協会 障害者支援施設ささらの里)



長野県社会福祉士会は一般社団法人として、再出発しました。今回の移行は法改正により、①一般社団法人、②公益社団法人、③株式会社、④解散のいずれかを選択しなければなりません。全国の都道府県社会福祉士会のうち一般社団33（7割）、公益社団が14（3割）となっています。

さかのぼる事2年前、平成23年7月19日、事務局において第1回法人移行検討委員会が開かれました。宮島渡委員長以下5名の委員が顔を揃え、公益社団・一般社団のメリット、デメリット、当会の事業・予算等の現状分析、組織の在り方などが検討されました。結論は公益社団に移行するための組織力、財政基盤、活動力ともに今は無い、しかし、今後会員の力を結集し公益社団を目指すべきという物でした。

さて、10月19日の移行総会時には、『ホームレス障害者』の著者、田園調布学園大学の鈴木文治先生、NPO法人ほっとプラス代表理事藤田孝典先生をお迎えし、貧困をテーマに福祉まるごと学会が行われました。この基調講演でお二人の講師が同仕事を語られました。個別的な支援を通じ、社会を変えていく。ミクロな支援がマクロな社会改良に発展するとのこと。私が社会に出た1980年代、障がい者が街に出る、その当たり前前前前が当たり前ではありませんでした。ある友人はその障がいのために乗車に時間が掛かる彼に、早くしろと罵倒したバスの運転手とケンカをし、他の仲間は入り口が狭く車椅子が入れない店に助言し、私たちと共に車椅子で入れる店のマップを作りました。私たち福祉専門職は、人々の幸せと自己実現を支援します。それを通じ人権を守ることが我々の使命です。しかし、社会の体制や環境を整えること無しにその福祉は実現しないことも多々存在します。

30年の時が過ぎ、路線バスにリフトが付き、バリアフリーが当たり前となりました。これは、我々が共に生きた証でもあります。個別的な支援から社会改良への発展は循環、相互作用の関係だと私は考えます。どのような社会であれば権利が守られ幸せに生活できるのか、それを追い求めなければ社会は変わらないし、理想を語らなければ社会は変わらないと考えます。

長野県社会福祉士会もまさに同様、その使命を全うするためには会員の皆さんお一人お一人の活動が無ければ成り立ちません。その成果として公益法人化を含めた会の未来があるのです。

法人移行について

副会長 青柳 與昌
(北信地区・長野市社会事業協会)



関係者皆様のご支援とご協力によりまして、無事一般社団法人への移行が終了いたしました。あらためて感謝申し上げます。しかし、社会福祉士会の成り立ちや役割を考えればこのまま一般社団でいいのかという思いです。公益法人は不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものでなければなりません。

これは、社会福祉士会の会員のみなさんも思いを形にする上でぴったりではないでしょうか。また、公益法人にすることで地域住民からの信頼度も増し活動にも重みが出てくることは間違いありません。理事や監事の責任もいま以上に重大さを増すでしょう。会員のみなさんにとっても公益法人化は今以上の活動の励みになることでしょう。公益法人化にするには、会員の皆さんと共に議論を重ね公益法人に移行できるように努力したいと思います。皆様のご意見が多数寄せられ実りある議論の展開がなされるようご協力をよろしくお願いいたします。

一般社団法人への移行

副会長 萱津 公子
(東信地区・長野大学社会福祉学部)



前執行部からの懸案であった一般社団法人に、会員の皆様及び事務局職員の尽力により無事に移行できましたこと、現執行部の一人として本当に感謝いたします。県士会の委員会の再編成により、研修委員会の果たす役割が大きくなってきています。特に、昨年から開始された認定社会福祉士に関する基礎研修等の開催・運営と、県の補助金を受けて実施しているキャリア形成訪問指導事業の事業所への講師派遣は、会員のご協力がないと継続が困難になります。職能団体に入会することは、会が何かをしてくれるという受け身ではなく、会の活動に参加しながら会を通して社会に発信していくことだと私は考えます。そこから、ネットワークが形成されたり、自己研鑽後のスキルアップに繋がるのではないのでしょうか。県士会は、会員一人ひとりのためにあります。会員としての責務を果たしながら、まず、地区活動から積極的に参加してみたいかがでしょうか。



一般社団法人への移行に 当たって長野県社会福祉 士会に期待すること

理事 青木 寛文
(長野県弁護士会)

今般の公益法人制度改革に際して、長野県社会福祉士会は一般社団法人への移行を選択されました。長野県社会福祉士会の公益的性格からすれば、公益社団法人への移行も十分考えられたとも思いますが、名より実を採った選択だと理解しております。長野県社会福祉士会のホームページを拝見すると、三村会長の挨拶の中で、会の目的として3つの目的を挙げておられます。研修機能、ネットワーク機能、社会改良機能のいずれをとっても重要な目的だと思い、長野県社会福祉士会に期待されることの大きさがよく理解できます。これら3つは、個々の社会福祉士が意識して頑張ってみたところでなかなか困難を伴うところが多いものと思われ、組織的な取り組みが有用なことだと思います。その組織的な取り組みを効果的に行っていくように私も理事の一人として尽力したいと思います。また、理事の立場を離れ、弁護士としても、研修分野では福祉分野に求められる法的知識をお話ししたり、ネットワーク機能や社会改良機能としては、社会の改良のために福祉と司法の連携が求められる場面での架け橋になったり、皆様のお知恵を頂ければ嬉しいです。

今後ともよろしく願います。



時代の流れとともに変 わりゆくもの、変わら ずにあり続けるもの

広報編集委員会
理事 宮本 雅透
(北信地区・長野市役所)

時代は目まぐるしい変化をしており、その流れとともに社会福祉士会も変わるべきところがあれば、時代が変わったとしても変えてはいけないものがあります。社会福祉士である私たちも同じです。広報編集委員会は9人の委員で構成しており、広報紙の発行、ホームページの運用、パンフレットの作成を主とした活動をしています。会員が1,000人近くなり、一人ひとりの活動や顔が見える会になるよう、広報紙やホームページで多くの会員の皆さんに寄稿をいただき、実践や日頃の活動内容等を紹介していきたいと考えています。広報編集委員や地区理事・運営委員等から寄稿の依頼がありましたら、快くお引き受けください。

また、情報発信として研修やイベント案内などタイムリーにホームページに更新していますので、お時間のあるとき、毎日の日課に、閲覧ください。共に会を盛り上げ、『自分たちの会』を育て、築いていきましょう！



一般社団法人への移行

理事 中村 英三
(長野大学)

長野県社会福祉士会の「一般社団法人移行」で、新たな組織の誕生をお祝い申し上げます。今年度より長野大学社会福祉学部に着任いたし、御縁を頂き当法人の理事に着任させていただきました。少し自身の歴史を紹介させていただきますが、私は長い間養護老人ホームに勤務し実践者として社会福祉制度の変遷とともに歩み、5年前には茨城県水戸市の常磐大学に勤務し今日に至ります。この自身の転換の意図には「実践と理論」をどのように繋げることができるかがテーマです。

社会福祉士資格制度が誕生して25年を経過し、多くの人材が社会福祉士として活躍する時代になり、当初から比較すると就労範囲を含めて活躍する領域の拡大も進み、社会的認知度も充実しつつある現在です。反面では課題も多いことも回避できない現実も抱えている中で、これからの社会福祉士会の社会的役割を創出する大切な時期を迎えていることを踏まえて、微力ではありますが活動させていただきますのでよろしく願います。



一般社団法人への移行 ～新体制～

研修委員会
理事 雅楽川 政彦
(中信地区・県松本児童相談所)

あなたにとって「社会福祉士としての専門性」とは何でしょうか？また、社会福祉士を志し、登録証を初めて手にした時の気持ちはどうだったのでしょうか？

倫理綱領前文に「ソーシャルワークの知識、技術の専門性と倫理性の維持、向上が専門職の職責」とあります。また、行動規範においても専門性の向上が求められています。しかしながら、自分も含めてですが、日常の業務や目の前の課題の解決などに追われ、「社会福祉士としての専門性」や「目指す社会福祉士像になるために、どう自己研鑽するか」についてゆっくりと考える時間を持つことは難しい方が多いのではないのでしょうか？研修委員会では、社会福祉士が福祉実践にあたってジェネリックな力量を担保するために必要な知識・技術を体系的に学ぶことを目的として実施していた共通基盤研修から移行し、昨年度から実施している「基礎研修Ⅰ」をはじめ、会員の専門性向上を目的とした研修を企画・運営しています。これまで以上に「会員になってよかった」と思っていただけのような研修を企画したいと思っていますので、日頃の業務や自分の立ち位置を振り返る意味でも積極的に参加いただければうれしく思います。



新しい革袋めざし 「語ろう」!

権利擁護センターばあとなあがの
理事 山田 兵治
(南信地区)

2003年日本社会福祉士会ばあとなあは、「成年後見センター」の名称を「権利擁護センター」に変える。社会的要支援者の質的・量的変化への社会的対応であった。他方後見活動は、相談支援という枠を超え、財産管理・死後事務等実務を含む新たなケア概念である。現在200名に近い後見研修を終えた人材を擁するばあとなあ「ながの」は、多様な価値観を持った別個の人格からなるがゆえに、選択された共通実践価値である「権利擁護」の意義をいかに共有していくかが問われている。共有とは、異なる価値観の共生をもとに、自由と平等、平和等の倫理的価値観の追求における協働を根拠とする。すなわちメンバーの多様性を各人が認めつつ、言語的論戦をいかに積み重ねるかである。論理は、言語を通じて練られ、鍛えられ、実践への道筋を描く。プラトンの饗宴にならい、酒酌み交わしながら楽しくかつ雄弁にこれからを物語るプロセスに身を投じたい。新しい革袋はかくして生まれる。



一般社団法人への移行 にあたって

地域生活定着支援センター運営委員会
理事 若林 喜久雄
(東信地区・ベルポートまるこ)

地域生活定着支援センター（以下、定着センター）は、皆様ご存知のとおり昨年度から長野県からの委託を受けて事業を開始しました。受託2年目の今年度は、昨年度からの継続支援対象者に加え、保護観察所や他都道府県の定着センターからの支援依頼が予想をはるかに超える勢いで増加しています。「矯正施設を退所した高齢者や障がい者への支援」ということで、支援に大変課題の多い事業ですが、昨年度の経験も踏まえながらスタッフの皆さんが県内外を走り回り、より良い支援に向けて日々奮闘しています。運営委員会は、定着センターの事業が円滑に行われるよう、月1回程度集まり、困難事例のケース検討などを行いながら側面的な支援を行っています。新体制となった当会において中心的な事業の一つである定着センターの事業を当会が受託している意義を再確認し、当会の大きな財産である会員のネットワークを最大限に生かした支援を行うことが今後ますます必要となってきますので、会員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



福祉の枠組みを問い直そう! 自分の枠組みを問い直そう

福祉活動委員会
理事 春原 伸行
(東信地区・上田市西部地域包括支援センター)

福祉活動委員会は子ども家庭委員会、障害者委員会、高齢者委員会を統合した福祉テラス委員会から改名し、分野を超えて福祉活動を行ってまいります。

委員会の当面の課題として、総会などでも貧困についての講演を行ってきましたが、国民間の経済格差は広がり続けています。その結果社会で弱い立場の人、子ども、障害者、低所得者、滞日外国人、受刑者などにそのしわ寄せがいき、各会員の職場でも貧困に関連した相談が増えていると思います。セーフティネットである生活保護制度も法改正の動きもあり変化がみられます。

こうした社会の現状に対して、社会福祉士として何ができるか、会員と一緒に考え、一般の人々に問題を提起し、少しでも現状の改善を図っていく活動を行っていきたいと思います。

【会員の皆様へ】

現在会員が直面している課題について、会員それぞれの立場でソーシャルアクションについて考えていただき、県社会福祉士会の会員としてできることを一緒に考えていただけるとありがたいです。ご協力をよろしくお願いいたします。



一般社団法人への移行 ～新体制～

理事 山本 杉樹
(北信地区・社会福祉法人高水福祉会)

北信地区の理事になりました、山本杉樹（やまもとさんじ）です。普段は、障害者支援施設にて、サービス管理責任者をしています。現在、北信ブロックでは、ばあとなあがのメンバーを中心に学習会が始まり、会員同志が「顔の見える関係」をつくり始めています。これを長野ブロックでも始めていき、まずは、「ブロックでの顔の見える関係」と並行して「地区で顔の見える関係」を作って行きたいと思います。

地区活動について、ブロック運営委員や地区運営委員とともに協力し、より良い北信地区にしていきたいと思っております。皆さん、よろしくお願いいたします。

【会員の皆様へ】

上記実現のために、ブロック・地区活動への積極的な参加をお願いします。



東信地区選出理事に就任して

理事 金川 優子
(東信地区・(一社)後見ネットあいあい 代表理事)

東信地区には現在約270人の会員がいます。私は地区理事として、以下のように活動したいと考えております。

何より、会長を中心とした体制作りやブロック運営委員との連携、地区の会員相互の交流に取り組むつもりです。その為に次の3点を心掛けます。

- 1 理事会等で話し合われた内容を地区へ持ち帰り、会員の皆様に伝える。
- 2 地区会員の皆様の要望を理事会に伝える。
- 3 ブロックで行われる勉強会等に参加して、地区の会員と交流する。

まずは、基本的な視点として会員の皆様に会を身近に感じて頂き、主役である会員の皆様の意向が会を動かす原動力となるように心掛けたいと思います。

会員の皆様のご要望やご意見などを、是非お聞かせ下さい。たまには、お茶でも飲みながらお喋りでもしませんか。

【東信地区会員の皆様へ】

ご意見やご要望、会員へお知らせしたい事etc…がありましたら下記 E-mail (yuuyuuyk@nifty.com) にご連絡下さい。お待ちしております。



南信地区理事として

理事 勝 又 小百合
(南信地区・(社福)りんどう信濃会 喬木悠生寮)

法人の変革期に大役を仰せつかってしまいました。ここ何年か、冬眠していたのですが、実は会員番号も比較的早く…登録番号も桁が少ない方なので…非力ですが、皆様のご協力の下にやっていけたらと思っています。これからの社会福祉士の活動は地域(地区)ごとの活動がメインになってきます。その中で「社会福祉士」として繋がり、それぞれのキャリアを活かす中でお互いが切磋琢磨出来ると良いと考えています。南信は事務局のある長野市からは大変遠いです。なので、「出来ない」ではなく地元で出来ることをしっかりしていくことを考えたいと思いますのでご協力をよろしくお願い致します。

【会員の皆様へ】

社会福祉士会は…多くの方が本業の傍ら関わっています。本当に大変です。高い会費を払って…やらなきゃいけないことも多いです…(泣)ただ…だからこそこの会は「だれかがやってくれることをただ享受する会」でもなく「自身が学ぶ為だけの会」でもなく、『一緒に学び合う会』だと思っています。社会福祉士という同じ資格をスタート地点に繋がり合い、学び合い、それを本業にも活かしていく…そんなのが社会福祉士会ではないか…と。ぜひ、皆さん、顔見知りになりましょう。多くの方と知り合える機会です。その為にも会の活動(学習会等)への参加よろしくお願い致します。



一般社団法人への移行 ～新体制～

理事 香西 崇
(中信地区・松本市役所)

中信地区の理事に就任しました香西です。中信地区は大北ブロック、安曇野ブロック、松本ブロック、木曾・塩尻ブロックの4つのブロックから構成されています。地区運営委員そして、一人ひとりの会員のみなさんと共に、地区活動を活発にしていきたいと考えています。

全県で行われる総会や福祉まるごと学会などへの参加はもちろん、ブロックや地区で行われる研修会や学習会、そして懇親会などを通じて、他の職場や分野で活躍している会員とのネットワークを構築していきましょう！主体は自分です。一緒に中信地区を盛り上げていきましょう。



適正な組織運営 のために

監事 内田 宏明
(北信地区・日本社会事業大学)

前期までは副会長・理事という立場であり主体的な姿勢で会運営に臨んできましたが、今期からは監事という役割をいただきましたので、やや一步引いた客観的な位置から会の運営に関してチェックアンドフォローしていくことが求められています。1,000人に及ぶ大所帯の運営は大変な苦勞が伴いますが、適正で効率的な運営に協力していきたいと思っています。

とにかく、みなさんの会です。まずは、会報などの情報に興味を持って見てください。そして、参加してみてください。

専門職として社会的な位置づけを得ていくために会の取り組みはとても重要です。





伊那社協
あいなちゃん

監事に就任して

監事 矢澤 秀 樹 (南信地区・伊那市社会福祉協議会)

長野県社会福祉士会が一般社団法人に移行し、新体制での会務が始まりました。みなさんもお存じのとおり、監事の役割とは財産状況や理事の業務執行を監査することです。しかし、私は会計や監査のプロではありませんし、特別な資格も持っていません。そのような私が監事として活動するにあたって、①事業は会員目線で分かりやすく透明性のある物になっているか、②正確な金銭管理が行われているか、の2点を注視したいと思っています。

【会員への期待】

会員の皆さんにお願いしたいことは、会務への参加です。待っていても会は何もしてくれませんか。会に入って何をするのか、専門家として自分自身で考えて参加することが大切ではないでしょうか。不慣れな監事ですが、頑張りますのでよろしく願いいたします。

役員名簿

会 長 三村仁志
副会長 青柳與昌
副会長 萱津公子
監 事 内田宏明
監 事 矢澤秀樹

【広報編集委員会】

委員長 宮本雅透
松山裕幸／小布施裕子／鈴木太郎
青木靖志／佐藤もも子／奥原和彦
戸崎洋子／中村正人

【福祉活動委員会】

委員長 春原伸行
虐待防止部会 部長 坂口 功
副部長 加藤和美 (高齢者分野)
副部長 小林 彰 (障がい者分野)
生活支援部会 部長 内田宏明

【地域生活定着支援センター運営委員会】

委員長 若林喜久雄 副委員長 端田篤人
松山裕幸／伊藤直哉／上條 弘／小林 彰／仲林 啓
村石真木子

【研修委員会】

委員長 雅楽川政彦
オブザーバー：廣瀬 豊／森田靖子
担当副会長：萱津公子
■認定社会福祉士研修
チームリーダー：矢澤秀樹
宮下京子／中川峻介／平岩真吾
■実習指導者養成研修
チームリーダー：細田昌義
大井富美子／佐藤哲郎
■キャリア形成事業
チームリーダー：長戸桜子
磯村政範／二村高明
■福祉専門研修
チームリーダー：伊藤芳子
島田和政／宮寄貞子／弓田香織

【ばあとなあ委員会】

委員長 山田兵治 事務局長 衛藤史朗
副委員長 飯島政光／松下祥大／北原俊憲
長野家裁 (本庁管内)
・長野：高垣利行／浅井 茂
・北信：澁澤昌記／石田正夫
長野家裁 (上田管内)
・上小：佐藤もも子／青木靖志
長野家裁 (佐久管内)
・佐久：金箱 翼／宮澤昭一
長野家裁 (松本管内)
・松本：南原友枝／鳥羽弘幸 ・木曾：秋葉多岐子
・大北：上條 弘／田淵勝子
長野家裁 (諏訪管内)
・諏訪：櫻井幸雄
長野家裁 (伊那管内)
・上伊那：小松真樹／中村克彦
長野家裁 (飯田管内)
・南信州ブロック 勝又小百合／島崎智美

【中信地区】

地区選出理事 香西 崇
地区運営委員 守屋幹雄 (大北)
地区運営委員 岩原徳太郎 (安曇野)
地区運営委員 佐藤哲郎 (松本)
地区運営委員 花野敦大 (木曾・塩尻)

【北信地区】

地区選出理事 山本杉樹
地区運営委員 村山恭子
飯島 哲／清水佑太

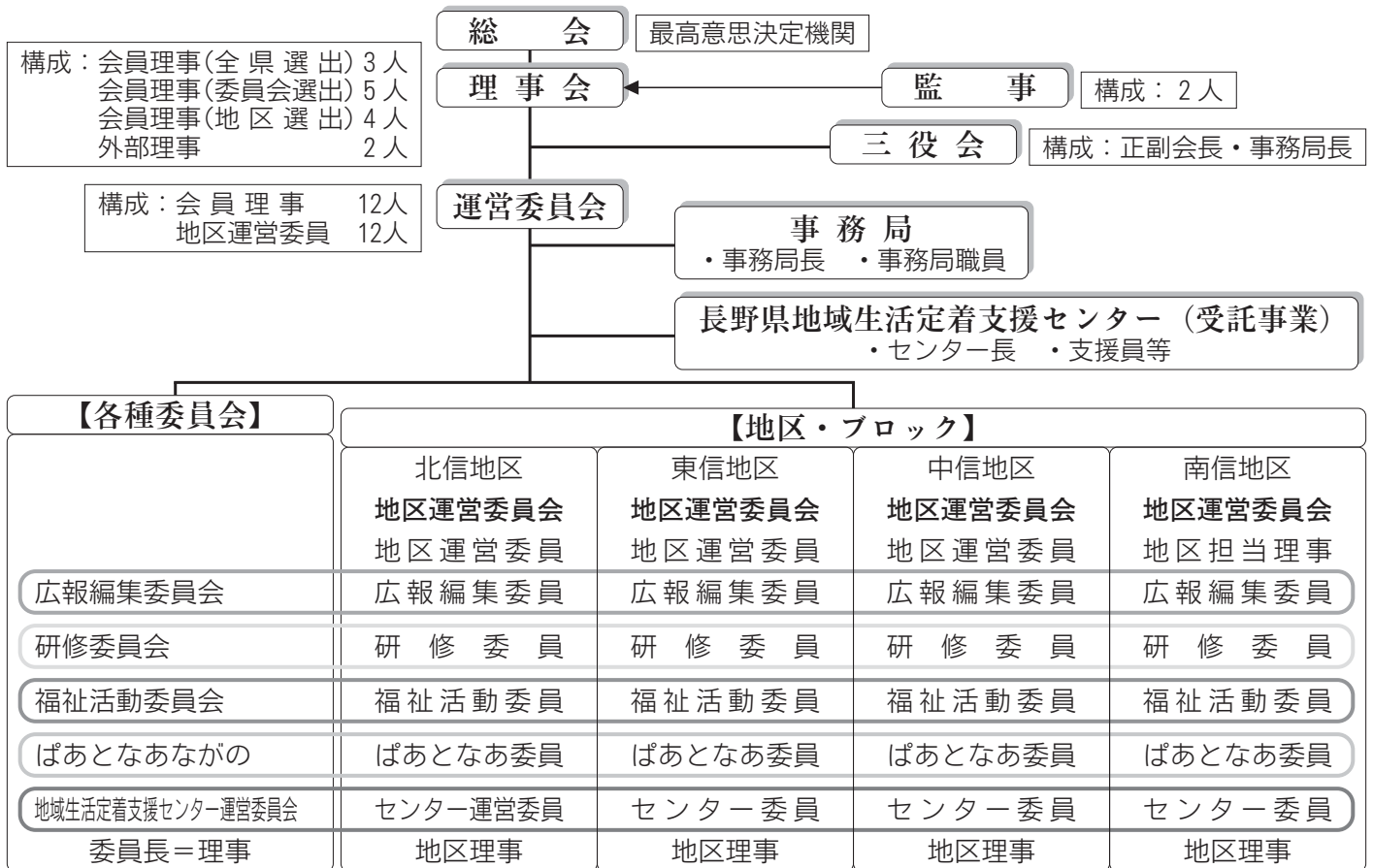
【東信地区】

選出理事 金川優子
地区運営委員 青木靖志 (上小)
地区運営委員 樋沢吾吾 (佐久)

【南信地区】

地区選出理事 勝又小百合
地区運営委員 前川智望 (諏訪)
地区運営委員 有賀智美 (上伊那)
地区運営委員 栗畑孝弘 (南信州)

一般社団法人 長野県社会福祉士会 組織概念図



第9回 福祉まるごと学会 ～10月19日 松本市浅間温泉文化センター～

第9回福祉まるごと学会では貧困問題で著名な2名の講師をお招きし、貴重なお話をお聴きしました。

- 鈴木文治（川崎桜本教会牧師・田園調布学園大学教授）さんからは、「貧困問題とソーシャルインクルージョン」をテーマに障害児教育を通じたインクルージョンの問題からホームレスに関する状況、それに対する体験談、対応についてお話をいただきました。ホームレス障害者への支援として、孤独感を支え、役割を見出すこと、自分の居場所を見つけること、かけがいのない一人として支えること、生まれてきてよかったと思える環境を作ること、排除するのではなく生きることを喜び合える社会を作ることの重要性を学びました。
- 藤田孝典（NPO法人ほっとプラス代表理事）さんからは、「社会福祉士として貧困の拡大や生活保護へのバッティングにどう立ち向かうか」をテーマに、社会福祉制度が機能していない結果、ホームレスになってしまう人がいる現状から当事者のエンパワーメントも必要ではあるが、対象を選別しない福祉実践が大切として、支援者側が変わっていく必要性を学びました。ソーシャルワーカーの役割や価値観とは何かを問うものとなりました。
- シンポジウムでは、美谷島越子氏（ながのパーソナルサポートセンター）から、サポートセンターの事業について、高木博史氏（長野大学）からは、社会福祉士として生存権の危機を認識すべきことについて、矢澤秀樹氏（伊那市社協）からは社会福祉協議会として生活困窮者支援の取り組み状況や課題について問題提起いただきました。
- 社会福祉士として向き合うべき姿の根底として貧困問題があることを共通認識しました。

重度心身障害児者 シンポジウム開催

11月9日(土) 長野市の「にじいろキッズらいふ」を会場に『重度心身障害児者シンポジウム』を開催しました。長野地方事務所の元気づくり支援金を活用し、100人の方に参加いただきました。

障害者虐待防止・権利擁護研修開催

11月25日（宮田村）、11月14日（松本市）、11月22日（長野市）、11月29日（佐久市）の4会場で開催(長野県障害者支援課の委託事業)しました。本研修に市町村行政関係者、福祉施設管理者・従業者の260人（4会場）が参加し、会員延べ50人に講師、ファシリテーターをお願いしました。



11/29 佐久会場の様子
 講師：山口光治教授（会員）

刑務所等出所後の生活支援を考える講演会 「福祉から忘れられた人々」～ 罪を犯した障がい者たち～



刑務所等矯正施設満期釈放者の中で、高齢・障がいを抱え自立が困難で親族等の受入先がない人が多くいます。講演会は、刑務所等での高齢者・障がい者の生活実態等や支援が必要な対象者、定着支援センター等について理解を深めていただくため、会員及び一般の方を対象にした福祉まるごと学会として開催します。なお、『東信地区車座集会』を13時から同会場において開催しますので、会員の皆さんは是非ご参加ください。

- 日時 平成26年1月18日(土) 14時30分～17時30分(受付:14時～)
- 会場 佐久市立国保浅間総合病院(大講堂) ※参加費無料
- 講師 山本 譲司氏(元衆議院議員。栃木県黒羽刑務所に服役。出所後は福祉施設のスタッフとして通い、執筆、講演、播磨社会復帰促進センター支援等を行う。著書に『獄窓記』『累犯障害者』等)
- 申込み 1月10日(金)までにFAX(026-266-0339)もしくはメール(teichaku-nacsw@iaa.itkeeper.ne.jp)で。
【問合せ先】長野県地域生活定着支援センター TEL026-217-0510

今後の予定

最新の予定は、本会ホームページ(<http://nacsw.jp/>)をご確認ください。

日程	時間	場所	内容
1月11日(土)	10:00～12:00	事務局	三役会
1月18日(土)	13:00～14:30	佐久市立国保浅間総合病院(大講堂)	東信地区車座集会
1月18日(土)	14:30～17:30	佐久市立国保浅間総合病院(大講堂)	刑務所等出所後の生活支援を考えるセミナー
2月2日(日)	10:00～	未定	ぱあとなあながの運営委員会
2月7日(金)	未定	未定	安曇野ブロック学習会
2月15日(土)	午前	松本市	三役会
2月15日(土)	午後	松本市	理事会
2月15日(土)	未定	未定	北信地区学習会

◎入会状況(平成25年11月末現在) *会員数:974名(男性会員:438名 女性会員:536名) 入会率:33.80%

報告!一般社団法人移行總會

福祉まるごと学会終了後、一般社団法人移行總會を開催。会員967人のうち、出席者50人、委任状88人、書面表決354人、定款17条により過半数を超え總會が成立。中村雅彦議長のもと議事進行。議案第1号 平成25年度社団法人長野県社会福祉士会決算報告(案)について、議案第2号 平成25年度予算(案)について、議案第3号(報告事項) 一般社団法人の移行経過について、いずれも賛成過半数を確認し、原案どおり承認しました。会場から、報道のあった障害者虐待事案について本会として権利擁護、虐待防止の観点から緊急アピールすべきではないか、との意見があり、三役会・理事会で諮ることを回答しました。



一般社団法人移行總會、福祉まるごと学会、祝賀会の企画、準備を進めていただきました中信地区を中心とした実行委員の皆さん、ありがとうございました。

夢を、かたちに...

一級建築士事務所

建築設計・監理

有限会社 **アトリエ夢の建人** TATSUJIN

一般社団法人 日本建築学会 会員
一般社団法人 長野県建築士事務所協会 会員

〒386-1102 長野県上田市上田原687-14
TEL 0268-29-6120 FAX 0268-29-6121
E-mail yumetatu@abelia.ocn.ne.jp
URL <http://www10.ocn.ne.jp/~yumetatu/>

編集後記

長野県社会福祉士会が一般社団法人として新たに出航します。

この船に客室はありません。

羅針盤も、燃料も、航海図もありません。

乗組員みんなの『想い』が羅針盤となり、一人ひとりの『手』が燃料となります。

進路はあなたが決めるのです。

さあ、どんな航海図を描いていきましょうか。(N)